

普天間飛行場移設問題に対する県内動向

沖縄県議会「普天間」県外を要求 2010年2月24日

沖縄県議会は与野党超党派で議員提案した「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外、県外移設を求める意見書」を全議員の賛成による全会一致で可決した。

普天間代替施設移設先の名護市新市長誕生「辺野古移設拒否へ」 2010年1月24日

名護市長選挙が行われ、米軍普天間飛行場の辺野古移設に反対する新市長が当選した。新市長は「辺野古の海に基地はつくらせないという信念を貫いていく」と移設反対を改めて決意した。



←4・25 県民大会
2010年4月25日
読谷村運動広場

「4.25 米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し国外・県外移設を求める県民大会」2010年4月25日

「米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還と県内移設に反対し、国外・県外移設を求める県民大会」(実行委員会主催)が4月25日、読谷村運動広場で行われ約9万人が参加した県内移設の反対を県民の総意として訴えた大会には参加者は大会のシンボルカラーである「黄色」のTシャツや小物、ステッカーを身に付け、県内移設に傾く政府に「イエローカード」の意思表示をした。大会では普天間飛行場を早期に閉鎖・返還するとともに、県内移設を断念し、国外・県外に移設されるよう強く求めた。

会場内の様子→
参加者はそれぞれの
メッセージをボード
等でアピールして参
加した。



「普天間基地包囲行動」2010年5月16日

5年ぶりに普天間基地包囲行動が行われ、普天間基地のフェンス、外周国道、県道など約13キロを「人間の鎖」で取り囲んだ。激しい雨に打たれる中、住民ら約17000人が行動に参加し、普天間基地の早期返還を訴えた。



普天間飛行場第三ゲート(野嵩)前でも人間の輪(鎖)が繋がっています



市役所に掲げられた普天間基地包囲行動巨大横断幕



どしゃぶりの中、たくさんの人々の参加によって成功しました。